

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第57期第1四半期(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

【会社名】 菊水化学工業株式会社

【英訳名】 KIKUSUI CHEMICAL INDUSTRIES CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 山口 均

【本店の所在の場所】 名古屋市中区丸の内三丁目21番25号清風ビル

【電話番号】 (052)300-2222

【事務連絡者氏名】 管理本部長 稲葉 信彦

【最寄りの連絡場所】 名古屋市中区丸の内三丁目21番25号清風ビル

【電話番号】 (052)300-2222

【事務連絡者氏名】 管理本部長 稲葉 信彦

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第56期	第57期	第56期
		第1四半期 連結累計期間	第1四半期 連結累計期間	第56期
		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	4,379,662	4,710,575	19,433,929
経常利益	(千円)	106,453	144,156	672,717
四半期(当期)純利益	(千円)	58,645	79,653	441,278
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	12,450	75,532	576,746
純資産額	(千円)	7,060,461	7,616,682	7,607,678
総資産額	(千円)	13,386,043	14,697,117	15,389,756
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	5.71	7.75	43.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	52.74	51.76	49.37

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政権交代後の景気回復策への期待感や日銀の金融緩和策の効果により、株高や円安が進展し、緩やかな景気回復の兆しが見られました。その一方で楽観できない雇用情勢、円安による輸入価格の上昇に対する不安、海外経済の減速の懸念などもあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「下地から仕上げまで」といったこれまでの経営方針に加え、今年度より「建築の総合塗料メーカーをめざす」方針を打ち出しました。そして戸建住宅や集合住宅のリフォームにおいて、充実した製品ラインナップを進め、ワンストップでお客様のニーズに応えていけるよう努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績として、売上高は47億10百万円と前年同四半期と比べて3億30百万円の増収を計上することができました。

利益面におきましては、営業利益は1億30百万円と前年同四半期と比べ38百万円の増益、経常利益は1億44百万円と前年同四半期と比べ37百万円の増益、四半期純利益79百万円と前年同四半期と比べ21百万円増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(製品販売・工事)

製品販売・工事においては、「下地から仕上げまで」の経営方針を徹底するとともに、前期受注残の消化、安全・品質・コンプライアンスの強化を行いました。その結果、集合住宅改修工事における下地材・仕上材の売上を確保するとともに、官公庁などからの受注も確保することが出来ました。加えて、より信頼性の高い施工体制の構築を目指す当社の姿勢に、施主、元請先の皆様から高い評価を頂くことが出来ました。

更に、今後は新ロゴ「K's(キーズ)」を冠した製品を発売していく予定であり、戸建住宅をターゲットに第2四半期以降も順調に推移すると思われま

す。「K's」は未来の扉を開ける鍵(キーズ)を提案し続ける建築の総合塗料メーカーになる思いをかたちにしたものです。

その結果、製品販売・工事の売上高は45億54百万円と前年同四半期と比べて2億72百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億25百万円と前年同四半期と比べ3百万円の減益となりました。

(セラミック)

セラミックにおいては、顧客別の受注差が大きいものの、電子部品業界の特定ユーザーの受注が引き続き好調となり、売上を順調に伸ばす事ができました。また、半導体製造装置向け機構部品の受注も伸ばす事ができました。

その結果、セラミックの売上高は1億55百万円と前年同四半期と比べて57百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は4百万円と前年同四半期と比べ42百万円の増益となりました。

引き続き、新規開拓と更なる新商品を投入し、電子部品業界及び半導体・液晶製造装置業界向けの受注拡大を目指すとともに、生産性の改善、コストダウンを進め、利益増大を目指します。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は146億97百万円(前連結会計年度末比6億92百万円減)となりました。

これは主として受取手形及び売掛金が7億91百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は70億80百万円(前連結会計年度末比7億1百万円減)となりました。

これは主として支払手形及び買掛金が6億74百万円減少、未払費用が2億23百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は76億16百万円(前連結会計年度末比9百万円増)となりました。

これは主として、自己株式が6百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は82百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,716,954	10,716,954	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数は、1,000株であり ます。
計	10,716,954	10,716,954		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		10,716		1,394,100		1,092,160

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 232,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,440,000	10,440	同上
単元未満株式	普通株式 44,954		同上
発行済株式総数	10,716,954		
総株主の議決権		10,440	

(注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（従業員持株ESOP信託口）が所有する当社株式216,000株は、完全議決権株式（自己株式等）に含めておりません。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式794株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 菊水化学工業株式会社	名古屋市中区丸の内 三丁目21番25号	232,000		232,000	2.17
計		232,000		232,000	2.17

(注) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（従業員持株ESOP信託口）が所有する当社株式216,000株は、上記自己株式に含めておりません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役 兼 管理本部、資材部、技術開発本部 セラミック事業部 担当	常務取締役 兼 管理本部、資材部、購買部 担当	中神 章喜	平成25年 6 月27日
取締役 兼 住宅事業本 部長	取締役 兼 住宅事業本 部長 兼 セラミック事業部 長	今井田 広幸	平成25年 6 月27日
取締役 兼 製造本部長 兼 ロジスティックスセ ンター 担当	取締役 兼 製造本部長 兼 技術開発本部長 兼 ロジスティックスセ ンター 担当	阿南 修一	平成25年 6 月27日
取締役 兼 海外事業部長 兼 経営企画室 担当	取締役	橘 佳樹	平成25年 8 月 1 日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下、「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,965,441	4,001,654
受取手形及び売掛金	2 5,207,219	2 4,416,089
商品及び製品	553,892	542,245
仕掛品	166,216	164,215
原材料及び貯蔵品	270,063	277,863
繰延税金資産	211,789	211,789
その他	406,608	377,041
貸倒引当金	7,957	6,885
流動資産合計	10,773,273	9,984,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	677,815	662,369
機械装置及び運搬具（純額）	138,068	130,546
土地	1,497,931	1,497,931
リース資産（純額）	161,708	151,159
その他（純額）	44,016	42,358
有形固定資産合計	2,519,539	2,484,364
無形固定資産		
のれん	23,586	20,677
その他	60,714	59,505
無形固定資産合計	84,300	80,182
投資その他の資産		
投資有価証券	1,162,303	1,298,657
繰延税金資産	158,335	162,730
長期預金	510,000	510,000
その他	183,971	179,029
貸倒引当金	1,968	1,860
投資その他の資産合計	2,012,641	2,148,556
固定資産合計	4,616,482	4,713,103
資産合計	15,389,756	14,697,117

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,422,198	2,747,734
短期借入金	1,450,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	85,457	134,158
1年内償還予定の社債	68,800	68,800
リース債務	22,088	22,088
未払法人税等	157,777	69,516
その他	1,045,989	880,624
流動負債合計	6,252,311	5,772,921
固定負債		
社債	213,600	199,200
長期借入金	489,648	411,330
退職給付引当金	476,911	479,438
役員退職慰労引当金	218,937	91,857
その他	130,669	125,687
固定負債合計	1,529,766	1,307,513
負債合計	7,782,077	7,080,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,394,100
資本剰余金	1,092,160	1,092,160
利益剰余金	5,171,824	5,178,089
自己株式	223,426	216,566
株主資本合計	7,434,658	7,447,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,379	159,069
その他の包括利益累計額合計	163,379	159,069
少数株主持分	9,640	9,830
純資産合計	7,607,678	7,616,682
負債純資産合計	15,389,756	14,697,117

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,379,662	4,710,575
売上原価	3,223,575	3,438,914
売上総利益	1,156,086	1,271,660
販売費及び一般管理費	1,064,227	1,141,104
営業利益	91,859	130,555
営業外収益		
受取利息	1,557	3,221
受取配当金	7,865	10,959
仕入割引	512	412
受取ロイヤリティ	2,521	4,087
その他	10,451	4,611
営業外収益合計	22,908	23,291
営業外費用		
支払利息	3,795	5,644
減価償却費	1,548	287
売上割引	2,358	2,570
その他	611	1,187
営業外費用合計	8,314	9,690
経常利益	106,453	144,156
税金等調整前四半期純利益	106,453	144,156
法人税等	46,950	64,106
少数株主損益調整前四半期純利益	59,503	80,050
少数株主利益	857	396
四半期純利益	58,645	79,653

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,503	80,050
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	47,052	4,517
その他の包括利益合計	47,052	4,517
四半期包括利益	12,450	75,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,700	75,342
少数株主に係る四半期包括利益	750	189

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

項目	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 債務保証

次の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
菊水化工(上海)有限公司	16,544千円	17,569千円

2. 期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	186,267千円	168,005千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
減価償却費	41,117千円	39,496千円
のれんの償却額	2,909千円	2,909千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	62,906	6	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(注) 配当金総額には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)に対する配当金1,692千円を含めております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	73,389	7	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(注) 配当金総額には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)に対する配当金1,512千円を含めております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,281,759	97,902	4,379,662	4,379,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	4,281,759	97,902	4,379,662	4,379,662
セグメント利益又は損失()	129,592	37,733	91,859	91,859

(注)1. 報告セグメントの利益又は損失()の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,554,687	155,887	4,710,575	4,710,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	4,554,687	155,887	4,710,575	4,710,575
セグメント利益	125,787	4,768	130,555	130,555

(注)1. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引をおこなっていないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円71銭	7円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	58,645	79,653
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	58,645	79,653
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,256	10,273

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

菊水化学工業株式会社
取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

代 表 社 員 公 認 会 計 士 柴 田 和 範
業 務 執 行 社 員

業 務 執 行 社 員 公 認 会 計 士 元 雄 幸 人

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている菊水化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、菊水化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。